

## は じ め に

当館は昭和47年開館し3年を迎えましたが、本年度も全体の利用者が14万4千人となり、その運営も漸く軌道に乗ったように思います。

本年度は特別展を、4月に「前田寛治とその仲間展」、8月に「人類の進化と旧石器展」、10月には東京国立博物館巡回展「日本近世の美術・工芸」と開催しました。

このほかにも新聞社等の主催による10指に余る優れた展覧会が開かれて盛況を極めました。

又、博物館活動の中心となる資料の収集と調査研究並びに教育普及活動では、各部門における常設展示の充実、博物館講座・映写会・見学会・採集会等を実施して、県民に親しまれる博物館にするための努力をいたしました。特に美術部門では、日本美術史に多大の足跡を残した本県出身の洋画家前田寛治の代表作といわれている「棟梁の家族」が、各方面の絶大なる御協力によって本館に収蔵されたことは、望外の喜びでありました。

開館以来博物館に寄せられる県民の期待は大きく、これに答えるために私共は今後一層学校・地域社会と連係して博物館活動の拡充を図り、博物館が「県民の学習の場・憩いの場」として、県民の生活の中に位置づけられるよう運営に努力したいと考えております。

第3号の年報の刊行に当り、当館に寄せられた県民をはじめ関係機関の御指導と御援助に対し深く感謝を申し上げますとともに、今後とも当館の発展のため一層の御支援を下さるようお願いする次第であります。

昭和50年12月

館 長 木 代 彰